

～メリークリスマス!!今年もお世話になりました。～

ザックリと

<今月もこのテーマです>

お話します

## 心理検査と知能検査について

今月からKABC-IIについてご説明します。この検査の適用年齢は2歳6カ月から18歳11カ月までなので、広く幼児から思春期、青年期までの認知特性や習得度を測定するものとして使われています。この検査もWISC-IVと同様に、いくつかの検査の複合から成っています。大きく分けると「**認知検査**」と「**習得検査**」があります。

### <認知検査について>

「認知検査」の認知とは、学校で学んだことをどれだけ理解しているかではなく、新たな刺激や状況をどのように処理するかという脳の働きのことです。子どもそれぞれの脳の働き方、これを「認知特性」といいますが、認知検査はその子どもなりの「認知特性」つまり「脳の働き方の特徴・個性」を明らかにしようとするものです。

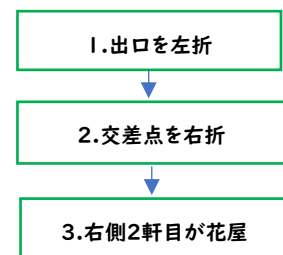
この「認知検査」の中には、例えば、視覚的に示された情報のパターンを読み取れるか、見本として示されたパズルのようなものを再現できるか、物語の文脈を理解できるか、見たり聞いたりしたことを順番通りにどのくらい覚えられるか、新しい情報をどれだけ記憶できるかなど、様々な検査があります。

### 「あなたの脳の働き方は、継次処理？同時処理？」

例えば、あなたが駅から花屋まで行くときの道順を人に説明されたときに、以下のどちらが分かりやすいですか？

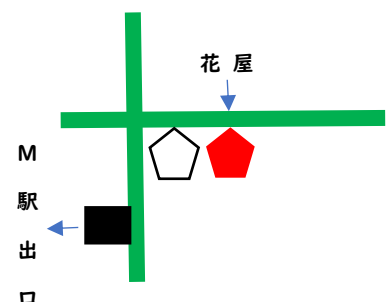
<パターン①>ナビタイプ 段階的に伝える・・・**継次処理**

M駅の出口を左に曲がり、  
見えた交差点を右折して  
2軒目の店が花屋です。



<パターン②>地図タイプ 全体的・視覚的に伝える・・・**同時処理**

この地図を見てください。  
ここがM駅で、  
このような道順で行くと花屋に着きます。



いわば「ナビタイプ」と「地図タイプ」です、あなたはどちらの方がスッと頭に入ってきますか？